

平成25年度 租税教育実践発表会



日 時：平成25年11月12日（火）13：30～15：40

場 所：石巻市遊楽館

石巻地区租税教育推進協議会

次 第

1 開 会

2 開会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会会長
(東松島教育委員会教育長)

3 発表者紹介

4 実践発表 石巻市立石巻小学校 教諭 千葉 桂介
石巻市立飯野川第二小学校 教諭 佐藤 孝敏
石巻市立門脇中学校 教諭 菅原 耕司

5 質 疑

6 閉会挨拶 石巻地区租税教育推進協議会副会長
(石巻税務署長)

7 閉 会

実践発表資料

- 石巻市立石巻小学校
教諭 千葉桂介 1

- 石巻市立飯野川第二小学校
教諭 佐藤孝敏 8

- 石巻市立門脇中学校
教諭 菅原耕司 13

平成25年度

租税教室実践発表資料



石巻市立石巻小学校
教諭 千葉 桂介

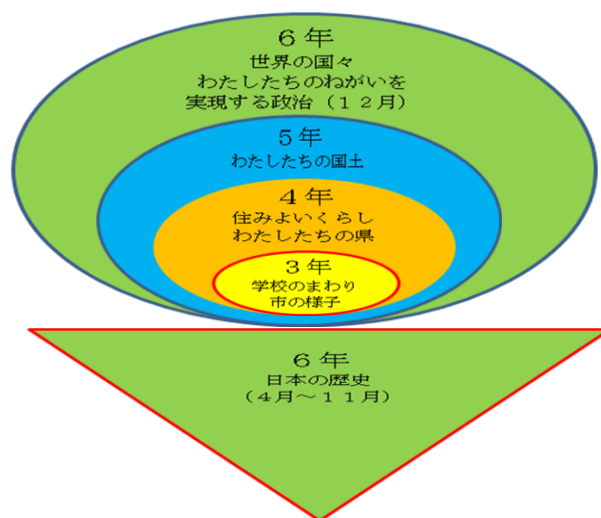
1 はじめに

税金がわたしたちの暮らしに役立っていることは、6年生の子どもたちも頭では理解している。しかしながら、アンケート等の結果を見ると、それは漠然とした知識である。具体的な税の使い道、さらに税の種類となると、すぐに思いつくのは「消費税」ぐらいであり、その他の知識についてはかなり曖昧である。

6年生の社会科の学習で、税について取り上げられるのは、「日本の歴史」における「租・庸・調」や「年貢」といった文言である。ここまでは、納めることの厳しさや持っていかれるものといったネガティブなイメージをもつものである。具体的な「税の働き」についての学習は、12月に1時間で学習する「わたしたちの生活と政治」の内容である。この間に、税についての認識を高めるために、租税教室を実施することとした。そこで、税の大切さや必要性について関心をもち、政治や国の将来について考えていけるような素地を養いたいと思っている。

2 小学校での社会科の学習から

3年生からの社会科においては、まず身近な地域について学習する。その後4年生では県についての学習、5年生で全国の産業、わたしたちの国土について、6年生で歴史、政治、世界としたいに範囲が広がるように学習していく。この中で、学校や公民館、警察署、消防署など公共の施設や貿易など、税が関わっている内容を学習していく。



3 小学校学習指導要領より

【第6学年】

2 内容

(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務などの国家や国民生活の基本を定めること。

3 内容の取扱い (抜粋)

「租税の役割」

(中略) 国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によっておさめられていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

「国民としての権利及び義務」

(中略) 国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要がある。
(中略) 納税の義務として、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

4 本校での税に関する指導の取組

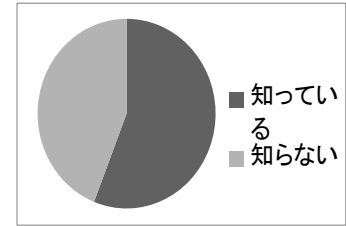
回	単元・題材名	教科書での扱い	指導の機会
1	『日本の歴史』 2 天皇中心の国づくり 「大化の改新と天皇の力の広がり」 (租・庸・調) 6 戦国の世から江戸の世へ 「人々のくらしと身分」 (年貢) 7 明治の国づくりを進めた人々 「大久保利通と富国強兵」 (地租改正)	<p>人々は、租・庸・調といった税を納めるとともに、役所や寺を建てたり、都や九州を守る兵士の役を<u>務めたりしなければなくなりました。</u></p> <p>奈良に新しい都(平城京)がつくられました。(中略)全国各地から品物を運んでくる人々で、はなやかににぎわいました。しかし、<u>そのにぎわいを支える地方の人々の生活は、重い税などのため、たいへん厳しいものでした。</u></p> <p>百姓は、名主(庄屋)とよばれる有力者を中心に自分たちでむらを運営しました。こうした村のまとまりを利用し、五人組という仕組みをつくらせて、<u>収穫の半分にもなる重い年貢を納めさせたりしました。</u></p> <p>国の収入を安定させるために、<u>土地に対する税のしくみも改めました。</u>こうした諸改革が進む一方で、新しい負担に苦しむ民衆による一揆もおこりました。</p>	社会の学習において、教科書に沿って指導
2	『事前アンケート』	・税についての認識度の確認	短学活
3	『租税教室』	<ul style="list-style-type: none"> ・税金とは何だろう？ ・税金の種類、使われ方 ・もし税金がなかったら ・小学生一人あたりに使われる税金 ・税金はなぜ必要か(DVD視聴) ・一億円はどれくらい？ 	社会(1)
4	『事後アンケート』	・租税教育後の変容	短学活
5	『わたしたちの生活と政治』 1 わたしたちの願いを実現する政治 「税金の働きを調べる」	<p>(中略) <u>住民や会社などから税金を集め、多くの人が必要とする公共的な事業を行っています。</u></p>	社会(1)

5 事前アンケート調査

(1) 調査（9月13日実施、対象：石巻小学校6年生41名）

1 税金の働きについて知っていることはありますか。

知っている・・・23人 知らない・・・18人



2 知っていることはどんなことですか。

- ・教科書が無償でもらえるのは、税金のおかげ
- ・国に納めるもの
- ・納めなくてはならないもの
- ・消費税率が上がる
- ・復興に使われる

3 税について、どんなイメージをもっていますか。

- ・国を成り立たせている大事なもの
- ・生活を苦しめている
- ・昔は苦しいもの
- ・大変
- ・負担

4 どんな税がありますか。

消費税・・・38人 住民税・・・2人 所得税・・・2人 印税・・・2人

5 消費税は知っていますか。

知っている・・・38人 知らない・・・3人

6 消費税は現在何%か知っていますか。

5%・・・19人 10%・・・4人 分からない・・・18人

7 消費税を上げるかどうか話題になっています。上げた方がいいですか。

【上げた方がよい】・・・1人

- ・国民のために使われていて、くらしがよくなるから。

【このままでよい】・・・22人

- ・ちょうどよい
- ・切りがよい
- ・低いと大変、高いと不満
- ・上げても下げても問題になる

【下げた方がよい】・・・18人

- ・お金を多く使うようになるから
- ・上げると払う金額が増える
- ・払う時困る
- ・負担になる

(2) 考察

- ・詳しい税についての学習は未習のため、関心が低い。
- ・今までの歴史上の税についての学習から、「税金は取られるもの」「生活を苦しめるもの」というイメージが強く、マイナスイメージが強い。
- ・消費税については知っているが、基礎的な知識については認知度が低い。

6 租税教室

(1) 目標

- ①国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によっておさまられていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。
- ②税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

(2) 実施期日 平成25年9月20日(金)

(3) 講師：石巻税務署 総務課 竹田 盛雄 様

(4) 対象 石巻小学校6年生45名(6年1組 23名、6年2組 22名)

(5) 実践内容

学習内容	学習での成果
1 税って何だろう？	・税務署の方から説明をいただき、税は社会の会費のようなものだということを知ることができた。
2 税の種類	・紙板書をもとに、税の種類と用途について知ることができた。
3 小学生一人当たりに使われる税金	・年間84万円もの税が一人一人に使われていることを知り、税金によって学習しやすい環境にあることを感じる事ができた。
4 税金はなぜ必要か (DVD視聴)	・DVDを視聴することで集中して学ぶことができ、税金の大切さについて理解することができた。
5 一億円はどれくらい？	・学級全員が高校を卒業するまでに、約2億円を税金から賄われていることを知り、お金の重みについて考えることができた。



7 事後アンケート

(1) 調査結果(9月24日実施、対象：石巻小学校6年生45名)

<p>1 税金の働きについて知ることができましたか。 はい・・・41人 いいえ・・・4人</p>	
<p>2 知ることができたのはどんなことですか。 ・いろいろな税の種類がある。 ・たくさんの方に税金が使われている。 ・いろいろなことに役立っている。 ・税金で国が成り立っている。 等</p>	
<p>3 税について、どんなイメージをもっていますか。 ・国を豊かにするために大切なもの。 ・大事なもの。 ・国民の生活に必要なもの。 ・消費税など払う時は自分にとって良くないけれど、必要なものなので普通にあってほしい。</p>	

4 どんな税がありますか。

消費税、所得税、住民税、ガソリン税、固定資産税、入湯税、酒税…

5 消費税は知っていますか。

知っている・・・45人 知らない・・・0人

6 消費税は現在何%か知っていますか。

5%…45人

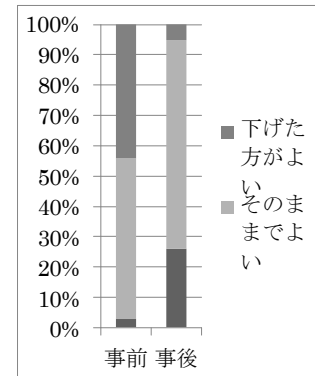
7 消費税を上げるかどうか話題になっています。上げた方がいいですか。

【上げた方がよい】・・・12人

- ・今より快適になるかも知れないから。
- ・国のために上げた方がよい。
- ・国や復興のためになるなら上げた方がよい。
- ・国の借金を減らすため。 等

【このままでよい】・・・31人

- ・慣れているのに変えると分からなくなる。
- ・上げると国民が反対する、下げると日本の未来があぶない。
- ・生活に苦しむ人も出ると思う。
- ・高いのも嫌だし、税金がないとだめだからこのままでよい。
- ・今の生活が不便ではないから。ですが、もう少しちゃんとしたことに使ってくれば上げてもいいと思う。 等



【下げた方がよい】・・・2人

- ・安くものを買えるから。

(2) 児童の感想

税金はわたしたちの生活にとっても大切だということが分かった。

税金がないと全部自分たちで支払わなければならない、今より大変になることが分かった。

税についてもっと知りたいと思った。税を勉強するのがおもしろいと思った。

消費税がとっても大切だということが分かった。

いろいろな税でわたしたちの生活は守られていることが分かった。

ごみの処理や公園の管理などいろいろな所に税金が使われていることがわかった。

ぼくたちに対して約83万円もの税が使われていることに驚きました。いろいろなものを大切に使おうと思う。

8 成果 (○) と課題 (●)

- 税に関する興味・関心が高まった。
- 税の大切さを知り、納税の大切さが分かった。しかし、児童の大方は現状維持を選択し、今の生活で満足に感じていることがうかがえる。
- 自分の身の周りだけを考えるのではなく、国全体がどのようにすればよいかなど、広い見方ができるようになった。
- 税に対する関心や知識を高めていくために、講師を招いて租税教室を実践することは有効であった。
- 発表のための租税教室という感が否めない。前の年から計画を立て、各学校での計画に位置付けられるようにしていく必要がある。
- 発表の時期を再検討する必要がある。

9 今後の指導

- 年間計画をもとに、6年社会の時間に指導する。
 - (1) 期日 平成25年12月 6年社会(下)「新しい社会」(東京書籍)で指導
 - (2) ねらい 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して必要な情報を読み取る。
 - (3) 参考資料 『わたしたちのくらしと税金』



(企画：宮城県租税教育推進協議会 制作：仙台国税局)

児童の税に関する疑問を生かし、税の大切さについて考えることができる授業の工夫

石巻市立飯野川第二小学校

教諭 佐藤 孝敏

1 はじめに

私たちが豊かで安全な生活を営むために納税は欠かすことができない国民の義務である。しかし、生活が様々な面で税金に支えられていることに気付かないまま成人になり、納税の義務を果たさない人もいるのではないかと思われる。それゆえに、小学生の時期に身近な生活と税の関係について正しい知識を身に付けることは、日本の将来を支える人材を育てる上においても非常に意義のあることであると考えられる。

本単元「私たちの生活を支える税」は第6学年社会科の学習指導要領の目標(2)イ「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民の権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」を受けて設定したものである。租税の役割について、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割をしていることを考えることができるようにすることが重要である。

児童の税に関する素朴な疑問を生かし、家庭から納められている税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにしていきたい。

2 児童の実態について

第6学年には14名の児童が在籍している。買い物で児童自らが直接支払ったことがある税は消費税であり、事前アンケートの結果からも児童にとって一番身近な税だと言える。所得税や自動車税等も知っている児童がいたが、どのような税なのか説明するところまでは理解していない。

税金の使い道については、教師が折に触れて学校の備品や教科書、教師の給料等について話していることもあり、学校教育の様々なところに税金が使われていることを知っている児童が多かった。

どのように税金の使い道が決められているかという点については、総理大臣や国会といった回答が多い反面、分からないという児童も多かった。

税に関する事前アンケートの結果は次の通りである。

○ 対象児童 6学年1組 男子10名 女子4名 計14名
1 税金の種類で知っているものを書きましょう。(複数回答)
①消費税(14名) ②所得税(9名) ③自動車税(6名) ④印税(3名)
⑤たばこ税(2名) ⑥固定資産税(1名) ⑦住民税(1名) ⑧法人税(1名)
⑨重量税(1名) ⑩ローン税(1名) ⑪ユーロ税(1名)
2 税金はどこに納められていると思いますか。(複数回答)
①国(政府)(7名) ②税務署(6名) ③天皇陛下(2名) ④公務員の通帳(2名)
⑤銀行(1名) ⑥外国(1名)
3 税金の使い道はどこで決めていると思いますか。
①総理大臣が決める。(3名)
②国(政府)が国会で決める。(2名)
③税務署の人が決める。(1名)
④天皇陛下・皇后陛下が決める。(1名)
⑤財務省の大臣が国会で決める。(1名)
⑥分からない。(6名)

- 4 税金は何に使われていると思いますか。
 ①学校(校舎,机,椅子,ピアノ等)(8名) ②道路(4名) ③公務員の給料(4名)
 ④教科書(4名) ⑤災害支援(2名) ⑥橋(1名) ⑦公園(1名) ⑧建設(1名)
 ⑨募金(1名) ⑩市立病院(1名) ⑪刑務所に入っている人の食事(1名)
 ⑫子ども手当(1名) ⑬えんぴつ・消しゴム(1名) ⑭日本の借金(1名)
- 5 税金について詳しく知りたいことは何ですか。
 ①税金はどうして払わなければいけないのか。(4名) ②税金とは何か。(3名)
 ③税金の種類(3名) ④税金の歴史(3名) ⑤1年間に納める税金の額(2名)
 ⑥税金はどうして高くなるのか。(2名) ⑦税金は必要なのか。(2名)
 ⑧所得税とは何か。(2名) ⑨一億円の重さ(2名) ⑩家庭で支払う税金の種類(1名)
 ⑪税金はどこにしまっているのか。(1名) ⑫日本の税金と外国の税金の違い(1名)
 ⑬税金がなくなるとどうなるか。(1名) ⑭住民税はどのように支払うのか。(1名)

3 指導にあたって

指導にあたっては下記の3点に留意していく。

- ・ 税について詳しく知りたいという児童の探究心を生かすため、事前アンケートの結果をもとに税務署担当者と共に授業を構成していく。
- ・ 平均的な年収の人物モデルを設定し、生活するために必要な税をより具体的に理解できるようにする。
- ・ 学習のまとめとして、仙台国税局が制作した資料「くらしと税金」を活用して学習内容の確実な定着を図る。

4 指導計画(2時間扱い)

時間	小単元名	主な学習内容
時間外	税に関するアンケート	・アンケートの内容を説明し、記述する。(記述については家庭学習とする。)
1	税とは何だろう？	・税金の種類を知る。 ・税金の納付額を知る。 ・税金の必要性を知る。 ・税金の使い道を知る。
2	税と日本の課題	・税金の使い道についてまとめる。 ・日本の課題について知る。 ・学習を振り返り、分かったことや感想を書く。

5 実践内容 特設単元「私たちの生活を支える税」
【第1次 税とは何だろう？】

<p>主な学習活動 ○：主な発問（児童のアンケートを活用する。） 児：児童の反応</p>	<p>主な支援・説明内容 税：税務署職員の方の説明等 教：教師の説明</p>
<p>1 税金の種類について知る。 ○「自分の知っている（聞いたことがある）税の種類を発表しよう。」 児：「消費税」「所得税」「印税」「車の税」等</p> <p>○「その他の税の種類について聞いてみよう。」 児：「すごくたくさんある。」</p> <p>2 私たちが支払っている納税額について知る。○ 「わたしたちは、1年間に、どのくらいの税金を支払っているのでしょうか。」 児：「10万」「20万」「分かりません。」等 児：「そんなにたくさん支払っているんだ。」 児：「払いたくないなあ。」</p> <p>3 納税の義務と税金の使い道 ○「どうして税金を支払わなくてはいけないのでしょうか。」</p> <p>○「税金を日本中のみんなが納めなかったらどういうことになってしまうのでしょうか。」 （DVD）を見て考えてみましょう。 児：「税金がないと道路がこわれてもそのまま」 児：「交番では、道案内をするだけでお金を取られる。」</p> <p>○ 税金が私たちの様々な部分で生活を支えていることを知る。</p> <p>* 1億円ってどれくらいの重さ？</p>	<p>税：税についての簡単な説明を付け加える。 児童から出なかった税「法人税」「ガソリン税」等を知らせる。</p> <p>税：各税金がどこに納められるか、国税、地方税に分けて掲示する。</p> <p>税：国民の平均年収のモデルを示す。 「例えば、日本国民の平均年収と同じくらいの年収370万のAさんの場合、所得税が8万、市町村税が10万・・合計46万ぐらいです。」</p> <p>教：納税（税金を支払うこと）は国民の義務として憲法に定められていることを確認する。</p> <p>教：DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を再生する。 * 税金がある生活と税金がなくなった生活を比較し、税金によってわたしたちの生活が支えられていることを知ることができる内容</p> <p>税：レプリカの1億円を児童に持たせる。</p>

【第2次 税と日本の課題】

主な学習活動 ○：主な発問 児：児童の反応	*教師の支援
<p>1 税金の使われ方について振り返る。 ○「税金はどのように使われているのか思い出そう。」</p> <p>2 税金の使い道を決めるのは、どこだろう。 ○「わたしたちが納めた税金の使い道はだれが、どのように決めているのでしょうか。」 児：「総理大臣」「天皇陛下」「税務署の人」</p> <p>3 日本の課題を考えよう。 ○「国の予算のグラフを見て気が付いたことを話そう。」 児：「国の収入は税金だけでなく、国の借金が半分くらいある。」</p> <p>○「国の借金が今どのくらいあるか見てみましょう。」</p> <p>児：「借金が多い。」「どんどん増えている。」 児：「無駄遣いをしないようにすればいい。」 児：「消費税を上げるしかないかな。」 児：「8%では足りないよ。」</p> <p>4 税についての学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>*仙台国税局制作資料「くらしと税金」(表紙、1ページ、3、4ページ)に記入しながら、前時の学習を想起させる。</p> <p>*資料6ページの図を使い、国民が選挙で選んだ議員が国会で話し合っていることを確認する。(県税、市税についても同様に決められていることを補足説明する。)</p> <p>*アンケートの児童質問「どうして税金は高くなるのか」を取り上げる。 *資料のグラフを示し、国債の項目に着目し、国の歳入の約半分が国債(国の借金)で賄われていることを知らせる。</p> <p>*ホームページ「国の借金時計 財部誠一氏」(http://www.takarabe-hrj.co.jp/)を提示する。</p> <p>*税金の収入以上の支出があるという課題があることや、だからといって、急に支出を減らしたり、増税したりすることは私たちの生活を苦しくする可能性があることを説明する。</p>

6 成果と課題 (○は成果 ●は今後の課題)

- 児童が書いたアンケートをもとに学習内容を構成したことで、教師や税務署職員の話を用意的に聞くことができた。
- 納税者の具体的なモデルを設定することにより、生活していくために必要な税金について具体的にとらえることができたと思われる。
- 資料「くらしと税金」を活用したことにより、重要な学習事項を網羅することができた。
- ホームページ「借金時計」を提示したことにより収支の問題に気付くことができたが、借金の印象が強くなり、税によって様々な社会保障、災害復旧の取組、地域の開発が行われていることの学習が希薄になってしまった。
- 税金がどのように私たちの生活を支えているのか、ビデオ教材以外にも調べ学習を行うなど、実感をもたせるための工夫が必要だった。

〔児童の感想〕

- O. T: 石巻税務所の武田さんが教えてくれた税の種類が多さに驚きました。たくさん取られるけど、その分、私たちの生活に役立っていることが分かりました。借金時計を見て、なぜこんな少しの時間に借金が増えていくのか驚きました。
- T. M: 学校の建物や机、道路をつくったり、直したりすることに使われていることが分かりました。ゴミ処理にも使われているので、とてもいいと思います。1年間に納められる税は約42兆円で、使われるのは約92兆円なので大変だと思います。
- O. S: 消費税は3%に下げて、給料をアップして物をいっぱい買ってもらって、その分税金をはらってもらおうといい。
- T. S: 私達の教科書だって、机だって机だって、全て税金です。だから、税金はなくてはいけないものなのです。だけど国の借金はなくしたいです。そのために消費税を15%に上げましょう。日本がなくならないために。
- K. S: 税金があるから生活が豊かになっていることが分かりました。(例えばごみの収集、道路整備等)でも、国の借金が多いので、使い道(支出)を減らしたほうがよいと思います。
- T. M: 税金は国民のために道路、病院、警察署、消防署などに使われ、安心して便利な生活ができることが分かりました。消費税が5%から8%に引き上げられても借金は増え続ける気がするのです、どうにかしなきゃいけないと思います。
- T. S: 日本は借金が多いので、ぼくだったらゲーム税を作りたいです。ゲーム1個買うと1000円支払うという税をつくりたい。
- S. R: もし、信号機をつくってもらえなくなったり、こわれた道路をなおしてもらえなくなったりすると、事故が起きて大変だと思います。問題点は日本に借金がありすぎることです。借金を減らすには消費税を増やすことなどが必要です。でも、お金のない人は大変だと思います。
- W. H: 税金はいっぱい種類がありすぎて覚えられないです。でも、そのお金が信号機や橋につかわれていることが分かりました。
- S. K: 東日本大震災後に税金が使われなかったら、がれきや壊れた橋などがそのままになってしまったと思うので、税金があるから生活がよくなっていると思います。日本の借金は税金を無駄遣いしないで、公務員の給料を下げればよいと思います。

平成25年度 租税教育実践発表資料

石巻市立門脇中学校
教諭 菅原 耕司

1. はじめに

本実践は、学習指導要領における公民的分野の内容（2）私たちの経済のイ「国民の生活と政府の役割」にあたる。ここでは、国民の生活と福祉の向上を図るために、現在抱えているさまざまな問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせることをねらいとしている。

国や時代を問わず、「税」はとても重視されてきた。とりわけ近代以降は、国民から集めた税を用いて、社会保障制度を整えたり、社会資本を整備したりして、区民生活の向上が図られてきた。しかし、現在の日本では少子高齢が進み、人口の減少が予想される中で、今までの税制では様々な問題が起こり始めている。将来にわたってより良い社会を築いていくために国民一人ひとりが「税」への理解を深め、財政の安定化を図るために「税」の在り方を真剣に考えていかなければならない。しかし、そのような中で生徒にとって「税」や「財政」という言葉は、聞いたことがあっても具体的にイメージするのが難しいもので、それらが自分たちの生活にどのように関わっているのか、よく分からない状態にある。

そこで、税金がどのように使われているのか、私たちの生活にどのように関わっているのか学習することで、「税」の意義と役割の重要性に気づかせ、将来にわたってより良い社会をつくる形成者として納税意識を高めさせたいと考え本実践を行った。

2. 生徒の実態（3年生：103名）

社会科については、1・2年生で地理・歴史そして3年生の1学期まで歴史を学習し、2学期から公民の学習を行う。全体的な学習の様子では、学習に対する意欲が高く、しっかりノートを取り、教師の話に耳を傾けている。公民の学習においては、身近な問題についての内容なので、生徒の日常生活とも大きく関わってくるので、意欲的に学習に参加している。しかし、自分の考えを表現することに抵抗を感じている生徒も多く、発表する生徒も限定されてしまっている。本単元の租税については、租税そのものについての学習の機会が現段階ではまだないことから、当然租税に対する関心や意識は高いとは言えないが、生徒にとっても最も身近な税金と言えば「消費税」である。現在の消費税が5%であることも知識として押さえている。更に新聞やニュース等で消費税が5%から8%に引き上げられることも多くの生徒は知っている。ただ、何のために消費税が導入され、税金が何に使われているかは理解していない生徒が多い。自分が納税をしていることすら意識していないかもしれない。

そこで、本実践に入る前に以下の調査を行った。

調査日：9月18日（3年生：66名）

1 どのような種類の税金があるか（複数回答）				
○消費税 58名	○所得税 8名	○固定資産税 5名	○間接税 7名	
○自動車税 6名	○重量税 1名	○法人税 3名	○タバコ税 3名	
○住民税 2名	○酒税 3名	○関税 2名	○都道府県民税 1名	
2 税金の使いみちについて（複数回答）				
○公務員の給料9名	○町の復興5名	○公共事業7名	○年金4名	○道路4名
○建設2名	○教科書8名	○公共施設4名	○病院2名	

<p>3 税金は必要か <input type="radio"/>必要55名 <input type="radio"/>必要でない8名</p> <p>4 必要な理由 <input type="radio"/>国の為に必要、国として成立できない <input type="radio"/>なんとなく <input type="radio"/>教育費や道路建設など <input type="radio"/>生活していくため <input type="radio"/>公共事業ができない <input type="radio"/>国で困ったときに使うお金が無くなる</p> <p>必要でない理由 <input type="radio"/>あまり使っていないように感じる <input type="radio"/>お金がかかる <input type="radio"/>国民や被災地のために使われていない <input type="radio"/>税金がどこにいくかわからないので今は必要でない</p>

3. 指導にあたって

アンケートの結果を踏まえ、まずは税金の種類や税のしくみをしっかり捉えさせ、将来の担い手として税金の使いみちなどに対して正しい判断ができるよう指導していきたい。税に関する現在の状況、課題、今後の展望などを考えさせ、税金と自分たちの生活との関わりを捉えさせていきたい。特に、少子高齢社会における社会保障とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせるなどして、考えをまとめさせたり、説明させたりする活動を取り入れるなど、統計資料などを通して理解させていきたい。

また、外部講師を招き、租税教室など開催することによって、租税に関する理解を深め、さらに納税者としての意識を高めていきたい。

4. 指導計画

1) 租税学習に関する指導計画

時数	学習内容	学習活動
第1・2時	租税教室	<input type="radio"/> 税務署職員の方の話やVTR視聴を通して租税についての理解を深める。 <input type="radio"/> 租税セミナーの感想をまとめる。
第3時	消費税について	<input type="radio"/> 消費税問題から税金のあらましと政治の働きに気づく

5. 実践授業

「3 学年租税教室」

- (1) 日 時 平成25年9月24日(火) 2・3校時目
- (2) 場 所 本校 武道場
- (3) 対象生徒 第3学年(男45名 女58名 計103名)

- (4) 講 師 石巻税務署総務課 竹田 盛雄氏

- (5) 本時の指導目標
 - 1) 外部講師の指導を通して、授業で学習した租税についての理解を深める。
 - 2) 租税について興味・関心をもたせ、納税者としての自覚と、租税を中心とした政治の働きに気づかせる。

- (6) 内容
 - 1) 税金とは何か。
 - 2) 税金の種類について
 - 3) 税金クイズ
 - 4) 「税に関するアニメ DVD」
税金がなくなったらどうなるか、一変して不便になった社会の様子を表した内容。
 - 5) 1億円擬似体験(一億円はどれくらいの重さになるか)
 - 6) 質疑・応答

6. 実践を振り返って 租税教室を終えての感想 (一部生徒分) 別紙

7. 実践を振り返って 租税に関する標語 (一部生徒分)

- ・税金はみんなのために
- ・安×4な世界を送るために(安心 安全 安泰 安定)
- ・未来につながる税
- ・あなたが国を支えています
- ・未来の子供たちのために
- ・増税はしょうがない
- ・税金を納めてみんなで助け合おう
- ・僕たちのお金が僕たちをつくる
- ・税を納めてきれいな町をつくろう
- ・税金があって成り立つ社会
- ・税金は国をつくる
- ・1人一円みんなで1億
- ・払わなけりゃアカン税
- ・私たちの暮らしを助ける税金
- ・税金に守られている私たちの税金
- ・税金で お も て な し
- ・あなたの税金が日本を変える
- ・あなたの税が日本を救う

8. 成果と課題

国や時代を問わず、「税」はとても重要視されてきた。税の歴史をさかのぼると古くは、飛鳥時代の布や絹の税、室町から江戸時代までの年貢、そして明治の年貢中心からの税から現金のしくみに変化してきたこと。それから大正から現在の税金の基本となるしくみができあがったことなど、学習は行ってきたが、ほとんどの生徒は現在の税のしくみに歴史があったことなど、関連しておさえてはいない。事前調査からも分かるように、生徒がもつ税に対する知識やイメージはけっして良いものではない。生徒達や大人も税金は「とられるもの」「いやなもの」というイメージを持っているようだ。そのような中で納税の意義や重要性を理解させ、国民の義務として果たすことの大切さを理解させ、税の負担者として租税の使いみちなどについて理解と関心を深めさせるなど納税者としての自覚を養うことが重要である。

租税に関する教科書の内容については、ページ数はごくわずかであり、その内容も十分なものとはいえないと思う。納税とは、単に税金を納めるだけの人の意味にとられがちだが、もう少し、納税者としてその用途を監視し、自分たちが支払う税金を政府が何に使うか、無駄使いをしないかなどに大きな関心を払うことが大切と考える。そうすれば、必要な公共サービスのためなら税金を進んで支払うという姿勢になると思う。「税金とは一体何なのか」「税金は、何故私たち社会にとって必要なのか」などを、早い段階で小学生のときから学校で教える必要がある。

税に関する学習内容においては、教科書ではまだ、扱っていないが普段の新聞等の記事から少なからず税に関する記事を授業で扱ってきた。生徒も税に関して、消費税については、大きな関心を持っている。今回の租税セミナーにおいては、生徒も税の種類や用途その役割について理解はしたと捉えている。租税教室を受けて、今後の授業では、生徒が最も関心の高い消費税について扱いながら、税の大切さを考えさせていきたい。

「租税教室」の感想

少子高齢化のせいで「納税者が少なくなっているのがよく分かった。国債が増えるで国がつぶれると非常に困るので、税について若い世代が実際に考えていかなければならないと思った。

税がある事で私達は健康で安全な生活が出来る事が分かりました。
税がなくなる、消防車を呼ぶのも、警察を呼ぶのにもお金がかかり、学校にもいけなくなるのは思いませんでした。

P.S. あの男の人には是非税金の大切さを

税金なんていらなと思っていましたが、税金がないと、町や県、とにかく全部に自己負担がかかること。そして、金を払えないと、消防や警察が動いてくれないことが、びっくりした。改めて、税金の大切さが分かった。こんなことがあっても、税金を払いたいの。

来年、消費税が5%から8%に上がるけど、他の国では20%とかかかると聞いて、おどろきました。
また、少子化で国の税金がたりず、国が借金をしていたことを知りました。
国が借金をしているのは不思議だ、と思いました。

いつも税と一言で言っているけど、思えば税の種類が多かったし、聞いたことのないものもありました。税に対して今まではあまり知らなかったけれど、これから税はちゃんと払っていくとしたら、大人になるともっとたくさん税を払わなければならないものだと知って、もう少し税についてしっかり理解するべきだと思いました。

いろいろな種類の税があることがわかりました。今は自分で払っているのは消費税くらいだけれど、大人になったらしっかり払わなくてはいけないなと思いました。
また、税金がなかったら、学校で膨大なお金がかかることや、汚い町になってしまうということで、税は非常に大切な存在だなと思いました。

税金について、いろいろな話をきいて税金はとても大切だという事が分かりました。
アニメや資料があって、とても分かりやすかったです。
学校は日本国民全員のお金が使われて建設されたという事を知りとても驚きました。
税についての仕事について、もっと詳しくしりたいなと思いました。

税金が無いと生活が大きく変わってしまう、今の生活の中たかだか気づけると思いました。中学校3年生になって初めて税金について理解できました。
買った物が何気なく払っている税金が自分も社会の役に立っていると知れて「税金」という言葉のイメージが変わりました。
皆で納めているんだなと嬉しく感じました。
税金が上がる事に不満はありましたが、より便利さを国のためにして貰って国がよくなる、たらないなという希望に変わりました。

今日の租税セミナーで、税金が何に使われているのか、税金が無くなるとどうなるのかなど、たくさん知ることができました。私も税金が無くなればいいのよ、と思ったことがありました。でも、今日のセミナーを受けて、税金が無くなっただけで日本は大変なことになるんだと分かりました。これから税金をしっかりとらさないといいと思います。

税金が無ければ今の日本をたのむことはできないと気がわかった。

仕組みを詳しく理解することは、難しくても気がわかったけれど、大人になってから困ったことないように、今からしっかりと学ぶべきだと思ふ。

セミナーのテーマである租税は単年か消費税が5%から8%になるのよ、私たちにしても身近な、とても近いことであることが多く、将来役立てることができると思いました。説明も映像を使い分かりやすくまとめていく内容がわかりやすかったです。

税金が無くなってしまうと、私たちの生活が崩れてしまうということがわかり、今まで税金のことをよく知らなかった私も少しは、理解することができました。

5%と少ない税金でも、国民全員が払えば、とても大きな額になることがわかりました。

税金が高くなることを知って、僕はやだなと思いました。でもね、税金が高くなると、年金がどかなくなってしまうので、しょうがないとも思いました。税について考えるのは、難しいなと思いました。

セミナーではよくわからなかったことがたくさんありましたが特に印象に残ったのはビデオを見たときです。日本から税金がもし無くなってしまうと道路は整備できず警察や消防に何かをたのむと多額の税金がかかることがビデオを見てわかりました。ビデオを見て税金は人が生活していくのに必要なお金なのだと思いました。

せいきんがなくなるとお金の口になることが分かった。せいきんのありがたみがよくわかりました。ためになりました。

たのしいお金の話も聞いたり、でもね、分らないことを知った。今の税金は7000円を

7000円 | 係ね、思えば以上は、お金の谷間が広いと思ふ。 (キナ)

税金は国民の義務であり、そのお金を使って、私たちは勉強することや、公共施設を利用したり、町がきれいな中で過ごすことができていることを知りました。来年から消費税が上がるので、そのお金を私たちの生活が豊かになるように有効に使ってほしいと思いました。

やはり税金は大切なものなと思いました。でも、国がかなり借金をしているのを知り、驚きました。他にも、税の種類がたくさんあって驚きました。これを通して、とてもいい勉強になりました。

- 税金の種類が多すぎ、大きく分けて2つの税の種類があることが分かった。
- ビデオや画像を使って分かりやすく説明していたので、より詳しく知ることができよかったです。(税がなくなるとどうなるかが分かった。)

税金にも国税や県税、直接税、間接税などがあると、細かく驚きました。また、消費税が今度5%になるのに、高いかと思いましたが、ヨーロッパの国々では、20%以上の国もたくさんあって、やっぱり日本も増税した方がいいのかなとセミナーを受けて思いました。

租税セミナーで分かったことの中心の各印像に残ったことは税金の種類です。所得税、法人税、相続税、贈与税、消費税、酒税、たばこ税、揮発油税、石油増徴税などがあげられました。たくさん税金の種類があげられていてとても驚きました。

税金があることで国民は、地元のいい暮らしができるということがわかりました。学校に通うことが出来る義務教育や道路などの整備、警察官や消防士などに給料が支払われ、退職した時の年金なども国民が個人で担うのではなく全体で負担することにより実現している。毎月が過ぎることはすごく大切なことなんだと思いました。

税が、聞いたことが税が「所得税、消費税」は知っていましたが、地方によって「たばこ税、入湯税」などがある、明々の税があることがよくわかりました。税がいろいろ大変というのを学びました。

1億円の重さ → 10kg

税金は、日本国民が住みやすいように集められていることがわかりました。

また、税金は、酒とかたばこにもかけられていることにも驚きました。

ノンアルコールにも税金はかけられるのか、知りたかったです。(意見)税金は、10%とか2%ではなく、10%